

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 7-3-5	事務事業名 市内産農産物活用推進補助金	所管部課 生活文化スポーツ部産業振興課
----------------	------------------------	------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	西東京市を産地とする農産物又は市産農産物の加工品の生産を行う事業者が市産農産物等の販売等に用いる資材に係る経費の一部を市が補助することにより、市産農産物等を市民に広く宣伝し、市民の都市農業への関心と理解を深めるとともに、市内における農業の育成及び振興を図る。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	
	市産農産物を生産している市内農業者、団体及び市内で市産農産物の加工品の製造を行う事業所に対し、市産農産物等の販売、宣伝又は市場出荷に用いる袋、ダンボール箱、シール、テープ等で、西東京市農産物キャラクターの「めぐみちゃん」を表示したものの作成、印刷、購入等に係る経費の一部を補助する。 なお、市産農産物の加工品については、原材料を表示する欄に「西東京市産」と明示したものとする。 補助対象経費の3分の2以内とする。限度額は、農業者2万円(認定農業者は、4万円)、団体・事業者5万円とする。 (予算事業名 06.01.03.03多様な農業経営支援事業費(市内産農産物活用推進補助金))	
事業開始時期	平成22 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	事業費(A)				789	597	992
財源内訳	国庫支出金・都支出金						
	地方債	千円					
	その他 ( )						
	一般財源			789	597	992	2,000
所要人員(B)			人	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費(C)=平均給与×(B)			千円	817	770	794	821
臨時職員賃金等(C')			千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')			千円	1,606	1,367	1,786	2,821
単位当たりコスト(E)=(D)/ ( )			千円	39	47	27	

評価指標の設定	活動等指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	① 申請者数	実績値	人(団体)	41	29	66		
②	実績値							
《指標の説明・数値変化の理由 など》 事業予算の執行率が、低迷していたものの、平成25年度は申請者数、予算の執行率ともに大きく増加した。								
評価指標の設定	成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	一次	認定農業者申請者数	目標値	人	15	15	15	20
		実績値	人	17	13	17		
	二次	目標値						
実績値								
《指標の説明・数値変化の理由 など》 農業者・農地が減少を続けている中、認定農業者は市内農業の中核を担い、農業の振興に大きな役割を果たしている。認定農業者が本事業を活用することにより、市内農業の育成及び振興につながる。								

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	特になし	
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	都内26市中7市で同種の補助金制度を設けている。平成25年度補助実施市の補助実績平均 1,106千円
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	代替・類似サービスはない。

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	3	継続実施	<p>本事業は、「農家と市民が育てる豊かな農業 西東京」をテーマに誕生した農産物キャラクター「めぐみちゃん」を活用することにより、市内産農産物のブランド化を進めるものである。このことは、農業者の販路拡大だけでなく、市民が市内産農産物にふれる機会を広げることにもつながる。</p> <p>引き続き、農業者に対して本事業の周知拡大を進めるとともに、新たに始まった「めぐみちゃんメニュー事業」との連携も図り、補助対象の拡大も検討し、市内のみならず、市外への農産物のPR拡大も図っていく。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方	2		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	改善・見直し	<p>市内の農家は、安全性の高い農業を志向しており、これは、市民の多くが入手を希望している市内産農産物に対する期待にも応じたものとなっている。</p> <p>本補助制度は、こうした市民ニーズ等も踏まえ、めぐみちゃんを活用して市内産農産物であることを幅広く周知するとともに、市内農業の振興等を図ることをねらいとするものであるが、予算の執行率の面等から必ずしも所期の目的を達成しているとは言い切れない状況にある。</p> <p>今後は、他の事業・補助制度との連携等による市内産農産物の安全性の向上など、めぐみちゃんブランドの価値・信頼性を更に高める取組を推進するとともに、一次評価にもあるように、農業者に対する本補助制度の周知拡大やめぐみちゃんメニュー事業への活用など、めぐみちゃんブランドの更なる普及に向けて、より効果的な補助制度となるよう、改善を検討する必要がある。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	1		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
対象外	

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
抜本的見直し	<p>本事業は、農産物キャラクターの「めぐみちゃん」を活用して市内産農産物であることを広く宣伝するとともに、市内産農産物のブランド化を進めることにより、販路拡大や市内農業の育成、振興等に繋げるための取組である。</p> <p>しかし、事業開始から5年目を迎える中で申請者数は一定の伸びは見られるものの、予算の執行率などを考えると、二次評価にもあるとおり、必ずしも目的を達成しているとは言えない状況となっている。</p> <p>一方で、近年、食に対する消費者の安全意識は高まっており、「めぐみちゃんブランド」の進展のためには、このニーズを的確に捉え、その価値や信頼性を高めるための取組と併せて広くPRを行うことが必要である。</p> <p>今後は、消費者の視点を考慮し、その期待に応えられる「めぐみちゃんブランド」の確立のため、補助要件の見直しなども含めて農業者等の主体的な取組を支援する制度として、より効果的な事業となるよう、抜本的な見直しを図りたい。</p>

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	<p>行革本部評価結果を踏まえ、新たに始まった「めぐみちゃんメニュー事業」とも連携した制度の活用を促すとともに、補助要件の見直し等により農業者のニーズを反映し、「めぐみちゃんブランド」の確立を図るものとする。</p> <p>平成27年度:農業団体等へのヒアリングの実施 平成28年度:補助制度の検証</p>
---------------	---